

愛の選択 (1991)

DYING YOUNG
THE CHOICE OF LOVE

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 111分

初公開日 1991/12/14

公開情報 FOX

【キャッチコピー】

涙が枯れても、あなたを愛し続けたい。

【解説】

恋人の浮気現場を目撃し別れたばかりの傷心のヒラリー（ロバーツ）が得た新しい仕事は、富豪の息子ヴィンセント（スコット）の看護。彼は白血病で、週一回の治療の際の付添いを必要としていた。彼のひどい苦しみに一度は辞めようとする彼女だったが、病状は安定しだし、やがて二人は愛し合うようになる。別荘での楽しい療養生活を送るが、現在の暮らしを失いたくない彼は、再び起きた発作をひた隠し、そして……。よくある難病物的結末にはなっていないのが新味だが、逆に食い足りない原因にもなっている。別にロバーツが演じなくてもいい役で（というよりミスキャストか）、何か違和感が付きまともったまま映画は終わる。同時期の彼女のプログラム・ピクチャーとしては「愛がこわれるとき」の方が遥かに良い出来である。音楽はケニー・Gが演奏しているが、もとより彼のどうでもいいサクソなど助けになんかなるわけもなく……。

【クレジット】

監督	ジョエル・シューマカー	Joel Schumacher
製作	サリー・フィールド	Sally Field
	ケヴィン・マコーミック	Kevin McCormick
原作	マーティ・ラインバック	
脚本	リチャード・フリーデンバーグ	Richard Friedenberg
撮影	ファン・ルイス・アンシア	Juan Ruiz Anchia
音楽	ジェームズ・ニュートン・ハワード	James Newton Howard
出演	ジュリア・ロバーツ	Julia Roberts
	キャンベル・スコット	Campbell Scott
	ヴィンセント・ドノフリオ	Vincent D'Onofrio
	コリーン・デューハースト	Colleen Dewhurst
	デヴィッド・セルビー	David Selby
	エレン・バースティン	Ellen Burstyn
	ディオーン・アンダーソン	Dion Anderson
	ジョージ・マーティン	George Martin